

活気があふれる交流の場

水口庁舎西駐車場を会場に、10月16日、水口商工まつりが開催されました。  
4月1日に市内5つの商工会が合併、「甲賀市商工会」が発足して初めて開かれ、約40もの模擬店には水口町外からも出店があり、大勢の来場者で賑わいました。  
ステージでは、ボディパーカッションなどで観客も一緒に楽しめる水口高校吹奏楽部の演奏が始まり、水口ばやしやヒップホップダンスなどが披露され、会場を盛り上げました。  
同時開催された第九回青年部わんぱく相撲では、約100名の小学生が学年ごとに優勝をめざし、両者一步も引かない取り組みが繰り広げられ、一日を通して活気があふれる交流の場となりました。

2011水口商工まつり



▲まつりを盛り上げた水口高校吹奏楽部による演奏

住みよいまちにするために

かふか21子ども未来会議

甲賀市議会議場で、10月23日に「かふか21子ども未来会議」による「子ども議会」が開かれ、市内小学5年生から中学2年生までの「子ども議員」代表21名が、まちをもっと住みよくなるために考えたことについて提案や質問をしました。  
この会議は、甲賀市青少年育成市民会議水口支部を中心に設立された「かふか21子ども未来会議実行委員」が主催し、初めて取り組まれたものです。  
子どもたちは、4月2日に「子ども議員」として任命されてから半年間、地域での体験活動などを通して学んだことをもとに質問を行い、中には、「忍者パーク」といった忍者の里をいかしたまちづくりの提案もありました。  
子どもたちは、緊張しながらもしっかりと発言をし、答弁にも真剣に耳を傾けていました。



▲質問をする子ども議員

ハロウィンに親しむ

ハロウィンパーティー 2011



▲みんなで「スリラー」ダンス

甲賀町のかふか生涯学習館で10月22日、甲賀市国際交流協会が主催するハロウィンパーティーが開かれ、小学生を中心に約130名が参加、10月31日に子どもたちが仮装して近所にお菓子をもらいに行く欧米のお祭り「ハロウィン」の文化や遊びを外国人ゲストと一緒に体験しました。

仮装コンテストやハロウィンに関連したゲームのコーナーのほか、参加者全員でマイケルジャクソンの「スリラー」のダンスに挑戦しました。

魔女など工夫を凝らした衣装を身にまとった子どもたちは、お化けになりきって踊った後、ゲームでは袋に一杯のお菓子をもらい、ハロウィンの文化を楽しんでいました。

鮮やかな芝生コートに集う

水口スポーツの森陸上競技場(サッカーグラウンド)オープニングイベント

整備工事を進めていた「水口スポーツの森」の陸上競技場がこのほど完成し、10月23日に、オープニングイベントが開催され、ジュニアサッカー教室や親善試合が行われました。

サッカー教室では、地元出身の元日本代表、井原正巳さんや元なでしこ日本代表の大谷未央さんらを迎え、参加した小学生約400名は真剣な表情で練習に取り組み、教わったポイントを早速ゲームにいかしていました。

市内スポーツ少年団全員対地元クラブチームFC M I O草津との交流試合では、M I Oの選手は束になってボールを取りに来る子どもたちを巧みなドリブルで交わしていましたが、19対18でスポ小が勝利するなど、熱戦が繰り広げられる一日となりました。



▶井原正巳さんが指導するサッカー教室

スポーツの秋を楽しむ

気軽に楽しく体を動かしてもらおうと、忍者の里スポーツまつりが甲南中央運動公園サッカーグラウンドで10月23日に行われました。  
この催しは、甲賀市体育協会甲南支部など地域のスポーツ団体が中心となった実行委員会により開催され、約400名が参加しました。



▲五人六脚で全力疾走

準備運動を兼ねた2kmのウォーキングから始まり、体力や健康状態の測定コーナーや五人六脚などのチーム対抗戦、ニースポーツ体験コーナーなどがあり、子どもからお年寄りまで幅広く楽しめる内容でした。

ニースポーツの中には、専用のクラブで打った球を的に貼りつけて得点を競うスナッグゴルフなどの珍しい競技もあり、爽やかな秋晴れの下、参加者それぞれが気持ちよく汗を流していました。

悲しみを乗り越え、美しいふるさとに

信楽町の多羅尾小学校で、10月29日、県立陶芸の森で11月5日の2回、昭和28年の多羅尾大水害を題材にした創作オペレッタ「あの杉の木のように」が上演され、全校児童15名によって歌や踊りが織り込まれたお芝居が披露されました。

同小学校の特色ある取り組みとして今年で24周年を迎え、同演目は、平成6年以来3回目の発表です。

以前の脚本を児童らが練り直し、記録的災害からの復旧、復興を通して「多羅尾の人のたくましさ・温かさ」「ふるさとの誇り」「命の大切さ」を描きます。

当時の様子や地域の人の思いが忠実に伝わるように学習を重ね、練習を続けてきた舞台に、会場が感動に包まれました。

多羅尾小学校全校オペレッタ「あの杉の木のように」



▲軽快な踊りと歌に手拍子が起こる